地域連携企画

桐蔭学園中等教育学校

まちづくりについて知り、中学生目線でまちのなかの居場所について考えてみる

桐蔭学園中等教育学校で行われている「地域連携企画」の一環で、2年生を対象に講演とワークショップを実施しました。

講演では、新型コロナウィルス感染症拡大により講演を撮影した動画を授業で見ていただき、横浜市が取り組んでいるまちづくりや方針、多摩田園都市のまちづくりの歴史、次世代郊外まちづくりの取り組み、中学生が共感できるまちづくりの事例などを紹介しました。

ワークショップでは、「まちなかに中学生のこだわりの居場所をつくってみよう！」をテーマに、自分たちにとっての居心地の良い場所の特徴を整理しながら、まちとの接点を考え、まちのなかにこんな居場所があったらいいなというアイデアを出していただきました。

アントレプレナーシップ講座

神奈川県立元石川高校

まちづくりの情報発信を
高校生目線で考える、提案する

アントレプレナーシップ講座は、起業家精神などを学びながら、企業や自治体、NPO、大学などと協同し、実践的な内容を取り入れながら、元石川高校の科目として実施されている授業です。

昨年度に引き続き、次世代郊外まちづくり事務局が本講座のパートナーとして取り組みました。

「高校生に次世代郊外まちづくり通信を届けるためにはどうしたら良いか」というテーマを投げかけ、様々な分析・提案がありました。グラフを活用したもの、劇になっているもの、漫画を取り入れたものなど、通信の内容の提案の他にもわかりやすいプレゼンテーションで発表してくださいました。

講座終了後、有志によるスピンアウト企画を実施しました。

アントレプレナーシップ講座 スピンアウト企画

神奈川県立元石川高校

まちのコインを活用して
地域でのイベントを企画・実施

元石川高校のアントレプレナーシップ講座の終了後、有志の生徒さん約20名が参加し、スピンアウト企画を実施しました。

今回は新しいテーマとして、たまプラーザ・リビングラボプロジェクトで取り組んでいる「まちのコイン」という地域通貨を活用し、地域の方々と交流ができる企画を検討し、そのうち2つのイベントを開催しました。

1つ目は「フレンドウォーク」。地域の方のおすすめの場所をマップにまとめながら、チームごとにルートを決め、まちの紹介を聞いたり、おすすめのお店に立ち寄ったり、交流をしながらまち歩きをしました。

2つ目は「イースターエッグパーティ」。ソフトテニス部の使わなくなったボールをイースターエッグに見立て、装飾するワークショップを実施。その後完成したエッグを敷地内に隠し、みんなでエッグハントをして楽しみました。

「可動型ネクサス：デザイン先導型都市 食料・水・エネルギー管理のイノベーション」

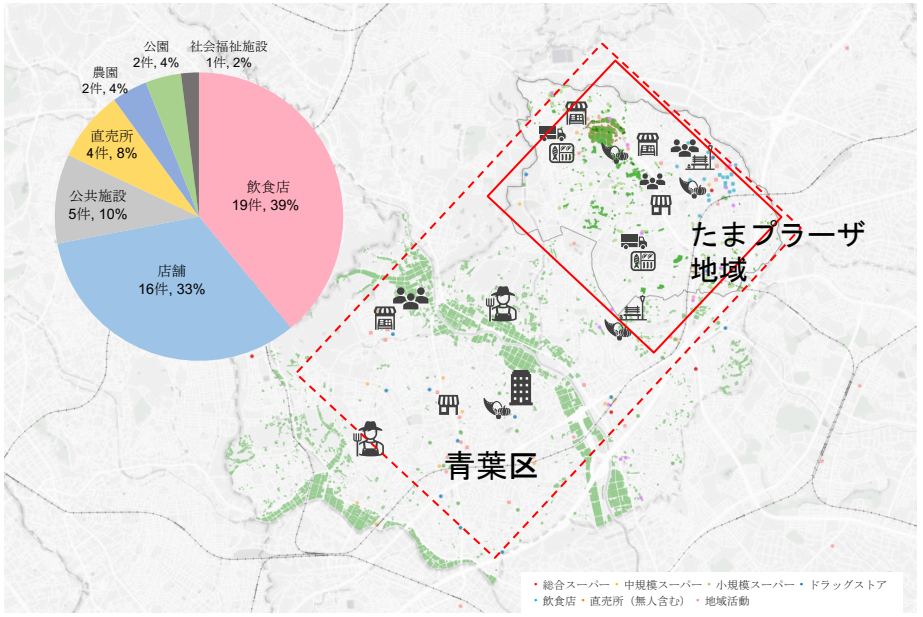
M-NEXプロジェクト

慶應義塾大学情報環境学部・政策メディア研究科
厳網林研究室

EDIBLE GARDEN CITY：次世代田園都市の持続可能な食環境の共創

まちの食に関する活動が持続可能な食環境につながるかを検証し、住み続けられるまち「EDIBLE GARDEN CITY 」のヒントとなるアクションプラン・プロジェクトを創出するために、M-NEXプロジェクトの一環として、共創プロジェクトを始めました。
地域の食活動に関するヒアリングなどの調査やカードゲーム手法で食と環境の結びつきを体感できるワークショップを実施しました。

●食環境に豊かさを創り出す地域の食活動



●今日から始めるエコ食卓

12月10日にPEOPLEWISE CAFÉにて、地元住民10名とワークショップを実施。食事のメニューの栄養素とCO2の関係を知ることができたり、普段の食事が環境にどのような影響を与えているのかを実感してもらう機会となりました。